

# 5年生

教科	成果	課題	重点取り組み
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語文において、登場人物の心情や行動を正しく読み取ることができるようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎筆者に対する自分の考えを「書く」こと。</li> <li>・漢字の定着における個人差が大きい。</li> <li>・語彙の数が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の時間に板書や自分の考え、学習感想などを書く時間を設ける。</li> <li>・分からない言葉があったときはすすんで意味調べに取り組みさせる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数的活動をすすんで取り組む児童が多い。</li> <li>・立式から課題解決までの過程において、根拠に基づいて自分の考えを表せる児童が増えてきた。</li> <li>・自分の考えを図や数直線等を使って表すことができるようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎答えを求めた後、検算をしたり、見直しをしたりすることをせず、間違いに気付かないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問をよく読み、設問に合わせて答えを導き出せるようにする。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心が高く、意欲的な取り組みが見られる。</li> <li>・写真・映像などの資料を効果的に取り入れることによって知識が定着してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎社会的事象について、疑問に思ったことや感じたこと、自分の考えを書くことに苦手な児童がいる。</li> <li>・資料を正しく読み取ることが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の読み取り方を丁寧に指導する。</li> <li>・資料から分かったこと、疑問に思ったことを考えさせ、自分の言葉でノートにまとめさせる。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科への興味・関心が高く、特に、実験・観察に対して意欲的な取組が見られる。</li> <li>・写真・映像などの資料を効果的に取り入れることによって知識が定着してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎考察を書く際、自分の言葉でまとめることが苦手な児童がいる。</li> <li>・理科的な用語を正しく覚えられない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果から分かったこと、結果から生まれた新たな疑問など、考察に書く内容を具体的に示すようにする。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱や器楽演奏に積極的に取り組む姿が見られる。</li> <li>・互いの音を聴きながら、音量のバランスや響きに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーや鍵盤楽器など、技能面での個人差がある。</li> <li>◎楽曲を聴いて、曲想の変化や曲の特徴を音楽の要素から見付け出し、言語で伝える力が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時活動として、強弱やリズム、音色など音楽を形作っている要素に着目するような活動を取り入れ、音楽の特徴を捉えられるようにする。</li> </ul>

<p>図工</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて授業に取り組み、楽しく制作活動や造形遊びに取り組んでいる。</li> <li>・自分の思いをもって伸び伸びと作品制作ができる児童が多い。</li> <li>・のこぎりや電動のこぎりなどの刃物を正しく安全に扱うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎様々な既習事項を活かし、主体的に表現に工夫を凝らして作品づくりに取り組むこと。</li> <li>・真面目に取り組んでいるが、手先の不器用さが見られる児童も数名いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で、今まで使ってきた用具や材料を確かめながら、どのような表現ができるかを思い出し考えさせる機会を設ける。</li> <li>・新しい道具や画材に積極的に触れさせる。</li> </ul>
<p>家庭</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に積極的に取り組むことができ、作品作りには、特に意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>・裁縫道具を正しく使い、作品を作ることができるようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学校や家庭において、知識の活用を図れるよう指導を工夫していく。</li> <li>・手先の不器用さが目立ち、縫い目がそろわない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科で学習したことを日常生活に関連付けることで、より一層の理解の定着を図っていく。</li> </ul>
<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動に対する意欲が高く、友達と協力しながら取り組むことができている。</li> <li>・体育に関する道具を正しい使い方できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自分の課題に向かって、どう取り組めばよいのか分からず、ただやみくもに取り組む児童が多い。</li> <li>・運動技能に個人差があり、習得に時間を要する児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動のポイントを学ぶ時間、学び合いの時間を意識的に設け、さらに深い学びにつなげていく。</li> </ul>
<p>外国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に積極的に取り組むことができ、英語を聞き取ろうとしたり、すすんで声を出して発音したり意欲的に取り組む児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎罫線(4線)上に正しく書くことができない。</li> <li>・単語を聞き取る際、似た発音の単語を間違えて覚えていることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットの大文字・小文字を罫線上に書く練習を行い、アルファベット3、4文字で構成される短い語を正しく書き写す練習を行う。</li> <li>・綴りを見せたり、音と物を一致させるためにフラッシュカードを使用したりする。</li> </ul>